

関係主体間の相互関係に着目した広域交通計画におけるシナリオ分析手法の提案: 背景と目的

- 公共政策の立案・実施を行う上では、将来の状況を適切に想定した上で、様々なリスクを考慮した意思決定が望まれる。
- 特に、交通政策においては、将来の社会経済動向を踏まえた交通需要分析が必要。(例)人口や経済動向等。
- しかし、広く行われている交通計画においては、必ずしも多様な環境条件を想定した柔軟な意思決定が行われていない。
-
- そこで、本研究では、新しい政策検討のための手法として、マクロな不確実性とミクロな不確実性の両方を取り扱ったシナリオ分析手法を提案し、東京圏広域交通政策事例に適用する。
- マクロ＝社会環境条件(将来人口の動向や経済動向等)
- ミクロ＝関係主体間関係, 関係主体の行動の不確実性

関係主体間の相互関係に着目した広域交通計画におけるシナリオ分析手法の提案

- 提案する分析の手法と手順: 分析主体(どのアクターの立場に立って分析を行うか)を定めた上で、以下の手順により分析を行う。
- A シナリオの設定
 - 1. 環境条件の不確実性要因(マクロな不確実性)を設定
 - 2. マネジメント不可能な他主体の行動に関する不確実性要因(ミクロな不確実性)の設定
- B 行動オプションの設定
 - 1. 相互期待表などに基づく行動オプション候補の設定
 - 2. 重要と思われる行動オプションの限定
- C 行動オプションの評価
 - 1. 総合評価のための考え方の設定
 - 2. 評価作業
- D.政策パッケージの提言